



大宮西中学校は創立50周年を迎えます
～つないできた 愛 これからもずっと～

藤花だより

令和6年度9月号
令和6年8月28日
さいたま市立大宮西中学校
TEL048(624)4339
<https://omiyanishi-j.saitama-city.ed.jp>

「2学期を迎えるにあたり」 ～「五十にして天命を知る」(孔子)～

校長 森角 由希子

今年の夏は、パリオリンピック、パラリンピック(8月28日開会)、夏の高校野球と、スポーツの祭典に湧き、一方では、昨年以上の猛暑や台風、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)等の自然の猛威から、防災への意識もさらに高まった夏でもありました。

さて、私が大宮西中学校に着任してから、地域の行事等で出会う皆様や、本校へ勤務した経験のある先生から、本校の歴史について語っていただくことがあります。そのような話に触れるたびに、熱い「大宮西中愛」を感じます。ただ単に「学校がそこにある」のではなく、多くの皆様の並々ならぬ思いがあるのだということを、改めて実感する次第です。

[大宮西中学校 沿革抜粋]

昭和50年	4月 1日	大宮市立西中学校 創立(三橋中学校内)
	8月21日	新校舎落成
	8月26日	三橋中学校より移転
昭和51年	2月 9日	校歌制定(作詞 白鳥朝詠 作曲 市川昭介)
	2月15日	体育館落成
	3月 3日	大宮西中学校落成開校式典
	5月 1日	校旗制定(P T A総会にて受領式挙行)

昭和50年4月1日から8月25日の間は、三橋中学校の4階を全部お借りして、授業をしていたとのことです。8月26日の新校舎への引っ越しでは、保護者、地域の皆様も総出でお手伝いいただき、井戸から汲んだ冷たい水やおにぎり、スイカやアイスクリームを配ってくださったそうです。沿革には記されていませんが、9月6日には、三橋中学校の生徒とのお別れの式をとり行い、涙ながらに別れを惜しんだとのことです。

また、もともと本校の敷地は農林省(当時)畜産場の跡地で、クワガタやカブトムシがたくさんいた緑豊かな雑木林だったそうです。その自然の面影を残すかのように、当時のPTA会長さんを中心に、時にはダンプカーを借りて桜の木を運び、若木等約四千本もの植樹がされたそうです。記念誌には、「お年寄りがお弁当をもって、校舎ができる様子を毎日見に来て、この地区に学校ができることをとても喜んでおられたようです。」と記録が残っていました。

それぞれの時代に在籍していた生徒や先生方の努力、保護者や地域の皆様の支援により、大宮西中学校が、地域から愛される学校として成長してきました。このことに感謝するとともに、在校生の皆さんには、これから先の50年へとつなげていくための役割(天命・使命)を自覚し、充実した学校生活を送ってほしいと強く願っています。

